

令和7年度 学校経営方針

中央区立明正小学校長 永木 一郎

1 学校経営の基本的な考え

「地域に支えられ、地域と共に歩む学校」を基本とし、保護者・地域の期待を尊重し、子どもが社会に出たときに、人生を幸福で豊かなものにするために、小学校教育で担うべき役割を明確化し、発達段階に応じた意図的・計画的な教育活動を、組織的に行います。

児童が、**主体的に自ら考え、判断し、行動できる**教育活動を授業や学校行事の中で意図的に設定します。特に授業の中では、**問題解決型の授業**を行い、自分の考えをしっかりとつ場面を設定し、話し合い（**対話的な活動**）や協力して行うグループ活動（**協働的活動**）を多く取り入れ、児童同士が互いによりよい問題解決ができるようにします。また、児童のメタ認知能力を高めるため、学習や行事の際の**振り返り活動**を充実させます。さらに、地域の学校として、常に評価・改善しながら、地域と協働した教育活動を展開します。

子ども自身の手で未来社会を切り開くための資質や能力を育み、人から教えられるのではなく、自分自身で主体的に問題を見付け、考え、対話的に考えを交流し、よりよい解決を導き、さらには、**新しい価値を見いだす力を育成する教育活動**を推進します。

令和8年度の100周年に向けた準備の年でもあります。地域・保護者を大切にし、地域・保護者から大切にされる学校を目指し、一丸となって教育活動をおこなって参ります。

2 教育目標

◎ よく考える子ども ○ なかのよい子ども ○ 健康な子ども

3 基本方針

- 方針1 学ぶ楽しさの共有
- 方針2 想像力・創造性の涵養
- 方針3 健康な体の育成
- 方針4 教職員自身に合った働き方の推進

4 教育目標を実現させるための具体的な方針

（方針1） 学ぶ楽しさの共有

〔具体的な教育活動〕

- ・教科担任制を推進し、教員の専門性を生かしながら教科指導の充実を図る。
- ・少人数指導や補習教室等で基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図る。
- ・問題解決学習の学習過程を設定し、思考力・判断力・表現力等を育成する。
- ・自分から進んで課題に取り組むなど、児童の主体的な学習態度を育成する。
- ・TPC を効果的に活用し、問題解決能力やコミュニケーション能力等を育成する。

（方針２） 想像力・創造性の涵養

〔具体的な教育活動〕

- ・ 特別の教科である道徳（以下「道徳科」という。）を要とする道徳教育を充実し、他者理解や思いやりの心情等の道徳性を養う。
- ・ 様々な集団活動に自主的、実践的、創造的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決する活動の充実を図る。
- ・ いじめを許さない心情を育て、いじめの早期発見・早期解決に努める。 など

（方針３） 健康な体の育成

〔具体的な教育活動〕

- ・ 多様な運動を通して体力の向上に関する指導の充実を図る。
- ・ 食育を推進し、望ましい食習慣を身に付ける。 など

（方針４） 教職員自身に合った働き方の推進

〔具体的な教育活動〕

- ・ 子どもに向き合う時間や教材研究する時間を確保し、よりよい教育を実践する。
- ・ 自分の働き方を見つめ直し、自分に合った働き方を実践させる。 など

５ 特色ある学校づくり

〔具体的な教育活動〕

- ・ 地域や民間企業と協働による実社会と連動した教育活動を推進する。
- ・ 東京国際フランス学園との交流を通して国際理解教育の充実を図る。
- ・ 学校情報の積極的な発信と保護者への学習・生活状況の丁寧な説明を推進する。
- ・ 時間管理（タイムマネジメント）の意識の定着を図り、自己の判断で行動できる児童を育成する。
- ・ マーチングバンドの活動や美術館との連携事業をはじめとした芸術的（ＡＲＴ）な活動を重視し、豊かな感性を育成する。
- ・ 英語によるコミュニケーション能力を高める外国語教育の充実
- ・ 社会に生かされているプログラミングを学ぶプログラミング教育の推進

６ 目指す学校像と教師像

目指す学校像

＊信頼される学校

目指す教師像

- (1) 子どものことを第一に考える教師
- (2) 子どものよきモデルとなる教師
- (3) 互いに協力し合い、認め合い、高め合う同僚性の意識が高い教師